

新しい公共支援事業の成果等報告（新しい公共の場づくりのためのモデル事業分）
平成24年度中間報告書

1 事業実施内容

事業名	農業分野における障がい者雇用推進プラン	
分類	■一般枠 □NPO支援重点化枠	
事業実施主体名	特定非営利活動法人 人材育成センター	
事業概要	三重県の障がい者雇用は全国的に見ると高いとは言えない。そのような状況の中で一人でも多くの障がい者を農業分野で雇用できないかと考え、障がい者雇用を実践している農業経営体とまだその経験のないところを中心にその実態をアンケート、ヒアリング等で調査し、そこから浮かび上がる問題点や障壁を整理・報告する。そしてその結果を踏まえて、障がい者雇用を進めるための啓蒙活動として農業経営体向けに事例報告会やセミナーを開催し障がい者側、農業経営体側双方の理解を深め、障がい者雇用の推進を図る。	
委託額 (内訳は別紙参照)	平成23年度	—
	平成24年度	2,500,000円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	●協働事業参加組織	
	農業指導者（元三重県農業大学校副校長）：小森善雄様 有限会社 亀井園芸：代表取締役 亀井輝忠様 （株）鈴鹿みどりの大地：代表取締役 後藤博英様 三重県：農林水産部担い手育成課：中西正明様 雇用経済部雇用対策課：三宅貴美津様 沖和哉様 健康福祉部障がい福祉課：内田立様 環境生活部NPOグループ：川端賢一様、寺田麻有里様 NPO法人 人材育成センター：平塚秀敏、日紫喜良守、田中貢	
	●会議の実施状況	
	実施月日	会議の議題
	4月11日	合同スタートセミナー：目的、事業内容確認、
	4月25日	第一回検討会議：自己紹介、農業と障がい者雇用の現状確認
	5月29日	第二回検討会議：アンケート内容・送付先について議論、今後のスケジュール確認
	6月～8月	メーリングリストによる状況報告
9月6日	第3回検討会議アンケート結果確認、ヒアリング進め方討議	
取組内容	<p>●これまで取り組んできた内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就農に関して現状把握と意見交換を実施。障がい者手帳を持たないグレーゾーンの人たちをどうするかということについても話し合いを実施した。 ・アンケート内容についてどこまで聞き出すか案を出し合い検討し、調査内容を取りまとめた。 ・送付先は農業に意欲的に取り組んでいる農業指導者をリストアップし、513団体に決定した。 ・7月初旬アンケート用紙を県とNPOの協働事業を明記して8月末期限で送付した。 ・9月末時点で131件の回答を入手した。 	

	<p>●当初(採択時)に計画していた内容から変更したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング調査の目標を10件としていたが、1カ所2件(事業体向け、障がい者個人向け)の調査が必要となるため、5カ所10件とする。 <p>●現状の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月末時点で回答があったのは約100件であり、Eメールで再度お願いし、9月末までで131件回答を入手した。回答率25.5% ・ヒアリングについては近くのグリーンクラフトさんから始める。
<p>今後(平成24年度下半期)の取組予定内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アンケート調査の結果を集計し、取りまとめる。 2. アンケートで回答のあった中から既に障がい者雇用を実践されているところを中心に5カ所をピックアップして詳細についてヒアリング調査を実施する。 3. アンケート調査、ヒアリング調査をまとめて農業経営体、福祉事業所等へ配布する。 4. 「事例報告会・セミナー」を実施できるように準備する。 5. 1月に「事例報告会・セミナー」を開催する。 6. 事例報告会・セミナーの結果をまとめる。 7. 来年度以降の活動についてメンバーで議論する。
<p>平成25年度以降の見通し</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の調査と事例報告会を通じて農業経営体での障がい者雇用に理解が深まると思われる。事例報告会は来年度以降も引き続き実施する予定。 2. 25年度では農業経営体での障がい者を受入れる情報を提供する。 3. 次のステップでは当法人で講座を開設して農業経営体の人に障がい者雇用における留意点、具体的指導方法を習得してもらい、福祉事業所の方には農業の知識や実習を通じて農業に対する基礎知識を身に付けてもらう。 4. 障がい者雇用を実践されているところ、および今後受け入れを検討していただけるところの情報を福祉事業所等に提供していく。 5. 福祉事業所のスタッフが、農業経営体での農業インターンシップができるよう福祉事業所に呼びかけていく。

2 成果の達成状況等

平成 24 年度に 達成しようと する成果	①農業経営体へのアンケート・ヒアリングによる障がい者の雇用の実態調査報告 ②事例報告・セミナーの開催																																								
具体的な指標 の達成状況等	項目	当初目標設定	9 月末日の 達成状況	平成 25 年 3 月未 達成見込み																																					
	①農業経営体への実態 調査(アンケート)	目標値(100 件以上) / 現状(131 件)	131件(達成)	131件																																					
	②農業経営体への実態 調査(ヒアリング)	目標値(5 カ所 10 件) / 現状(0 件)	0 カ所 0 件(未達)	5 カ所 10 件																																					
	③事例報告会・セミナー 開催	目標値(1 回) / 現状(0 回)	0回(未達)	1回																																					
	●成果指標の達成状況																																								
	①アンケート調査 リストアップした農業経営体513団体にアンケート用紙を送付し 131 件(9 月末日時点)の回答 を得た。障がい者雇用を実践されているところは下記の状況である。 ②ヒアリング先をここから選定して 10 月、11 月で実施する。																																								
	<table border="1" data-bbox="357 846 1369 1308"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>雇用実績</th> <th>内容</th> <th>回答件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>○</td> <td>既に障がい者を雇用していて今後増やしたい</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>○</td> <td>既に障がい者を雇用していて現状維持</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>○</td> <td>既に障がい者を雇用しているが縮小したい</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>×</td> <td>雇用はしていないが作業委託をしている</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>×</td> <td>障がい者雇用を開始したい</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>×</td> <td>障がい者雇用を検討したい</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>×</td> <td>障がい者雇用を考えていない</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>					種別	雇用実績	内容	回答件数	A	○	既に障がい者を雇用していて今後増やしたい	1	B	○	既に障がい者を雇用していて現状維持	8	C	○	既に障がい者を雇用しているが縮小したい	2	D	×	雇用はしていないが作業委託をしている	2	E	×	障がい者雇用を開始したい	4	F	×	障がい者雇用を検討したい	22	G	×	障がい者雇用を考えていない	92	合計			131
	種別	雇用実績	内容	回答件数																																					
	A	○	既に障がい者を雇用していて今後増やしたい	1																																					
	B	○	既に障がい者を雇用していて現状維持	8																																					
C	○	既に障がい者を雇用しているが縮小したい	2																																						
D	×	雇用はしていないが作業委託をしている	2																																						
E	×	障がい者雇用を開始したい	4																																						
F	×	障がい者雇用を検討したい	22																																						
G	×	障がい者雇用を考えていない	92																																						
合計			131																																						
●課題 および その改善方針																																									
課題 検討会で議論したところ次のような意見が出た。 ・既に障がい者雇用を実践されているところを中心に、そのやり方、工夫、問題点を聞き出し、課 題を明確にする。 ・農業経営体としての意見と障がい者個人についての調査が必要。 改善方針 ・ヒアリング調査は既に障がい者雇用を実践されている農業経営体の中から選定する。 ・今回の協働事業での成果目標は事業所数ではなくヒアリング件数 5 カ所 10 件とする。 ・事例報告会(セミナー)では障がい者雇用に関する知識を共有する研修会のようなものを実施 していく。																																									
現状の 自己評価	評価ランク <input type="checkbox"/> S:特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A:優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B:一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C:限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D:成果が得られなかった (該当する評価にチェックを付けてください)																																								